

## 福井市自然史博物館

# 博物館だより

FUKUI CITY MUSEUM OF NATURAL HISTORY NEWSLETTER



#### 福井の自然史情報

### 博物館屋上で観望した部分日食

日本の陸地で観測できるのは46年ぶりとのことで、大きな関心を集めた皆既日食。 博物館屋上の天文台からは、部分日食を観望することができました。

あいにく雲の多い天候でしたが、

最大で7割程度欠けた太陽を見ることができました。



## 福井市自然史博物館 第68回特別展 「身近な太古――福井市の(上右)」

#### 2009年7月18日(±)~10月12日(月·祝)

越前海岸の長鼻類(ゾウのなかま)の化石や、清水地区の美しく残っている植物化石、美山地区の恐竜時代の化石など、 私たちの身近な場所にも、今とは違った世界があったことを示す証拠がたくさん見つかっています。福井市の各地域で 見られる特色のある化石を一同に展示し、その生態や当時の環境についてご紹介いたします。「化石」を通して、生き物 の長い歴史や、身近な自然を見つめなおしてみませんか。

#### ふくいにゾウが歩いていた!!

現在は、動物園でしか見ることのないゾウも、約1700万年前 には福井を歩いていたことが化石からわかっています。福井市小 丹生町からは、ひざの部分の化石が見つかっており、また、福井 市茱崎町(旧越廼村)からは、足あとの化石も見つかっています。



足あとの化石を調べる には、現在の動物の足 あとを知ることが重要 です。石こう模型や写 真に加えて、実物大の ゾウやシカの足あとス タンプを押してその違 いを比べて見ましょう。

約1700万年前のゾウのなかまの足の骨の一部

#### なんと、熱帯なふくい



熱帯のような気候であったことを示す 貝類化石

ちょっと想像できないかも しれませんが、約1700万年 前の福井は、現在の東南アジ アのような暖かい気候だった ようです。福井市小丹生町か らは、現在、鹿児島県より南 でしか生育しないマングロー ブの花粉の化石が見つかっ ており、福井市鮎川町や国 見町からはマングローブの 下に広がる干潟にすむ貝や カニのなかまの化石が見つ かっています。現在のマング ローブの映像などで、福井 の熱帯時代にタイムスリッ プしてみましょう。

#### 落葉舞う、静かなる湖畔

葉っぱも化石として残るってご存知ですか? 福井市大森町 (旧清水町)からは、2000万年たっているにもかかわらず、美し

くその姿を残している植物 化石が30種類以上も見つ かっています。これらの植 物を調べることで、当時の 気候がわかってきます。ま た、一緒にトンボの羽など も見つかっており、当時の 湖の様子が浮かび上がって きます。体験コーナーで、 植物化石を調べるポイント となる葉脈や鋸歯について、 現在の葉っぱで調べてみま しょう。



ヤンマのなかまの化石(下)

#### シダ植物の茂る約1億4千万年前の世界



恐竜時代の貝類や爬虫類の化石

やはり、化石といえば恐竜。 恐竜時代の地層は美山地区に 広がっており、シダ植物や貝類 の化石が見つかっています。福 井市朝谷町で見つかった、爬虫 類の足の骨の化石も展示して います。真っ黒な石に残る約1 億4千万年前の生き物の化石を じっくりと見て、自分で探す手 がかりにしてみましょう。





福井市の化石について、わかりやすく紹介した冊子

「身近な太古-福井市の化石」を300円にて好評発売中!

#### 全国の古生物担当学芸員に聞きました

第68回特別展「身近な太古-福井市の化石」にあわせ、全国各地の博物館で古生物(化石)を担当して働いている方々(学芸員・研究員)、にアンケートを行いました。



#### [性別割合]



#### [血液型の割合]



#### [化石以外の趣味]



- 第1位 スポーツ ~体力勝負ですから~ 「スキー」と「水泳などのマリンスポーツ」が人気(18)
- 第2位 収集 ~やっぱり収集癖~ 「フィギュア」や「貝」の収集にはじまり「カルタ」まで!(10)
- 第3位旅行 ~海へ山へ~「温泉」、「キャンプ」に加えて「放浪の旅」も…(8)
- 第4位 読書 ~本も読まなきゃ~ 「立ち読み」、「本を買う」など(5) 動物 ~生きものが好き~ 「猫」、「フェレット」、「マルハナバチ」など(5)
- 第6位 睡眠 ~寝3子は…~ 「早寝」、「二度寝」(3)

- 6位続き… **博物館 ~ やっぱり好きだから ~** 「水族館 | や「美術館 | の見学 (3)
- 第8位 その他「旅客機」、「すごろく」、「日本酒」など個性的(19)
- ランク外 趣味はなし ~研究ひとすじ~ 高校生の時に地質と古生物に夢中 になり、そのまま現在に至ってい るなど(3)

#### [学芸員・研究員に なろうと思ったきっかけ]

- 第1位 見学などした博物館の影響(8)
- 第2位 たまたま欠員があった、偶然(7)
- 第3位 地学と生物が好きなので(7)
- 第4位 図鑑・本(4)
- 第5位 化石を見つけて嬉しかった経験(3)
- 第6位 高校・大学の先生の影響(2)
- 第7位 その他(3)

く かはり自分の研究対象 がお好きのようです

#### [一番好きな化石]

哺乳類(7)/貝類(6)/アンモナイト(4) /恐竜類(4)/有乳虫類(3)/植物(2)/ カニ(2)/腕足類、放散虫類、始祖鳥、カメ、 ヘビ、サメ、生痕化石(各1)/決められな (1)(1)

#### [ズバリ古生物の学芸員に 必要なものは?]

- 第1位 根気・粘り強さ・忍耐(9)
- 第2位 化石への愛(8)
- 第3位 好奇心・探究心(7)
- 第4位 人に伝える能力(6)
- 第5位 調査・資料整理・研究能力(5)
- 第6位 勘(3)/観察力(3)
- その他 体力(2)、豊富な知識(2)、行政能力(2)、ほどほどの想像力(2)、謙虚な態度(1)、カリスマ性(1)、展示技術(1)

●今回のアンケートに際し、以下の皆様方に多大なご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。(50音順 敬称略)相田 優 (福島県立博物館) / 池上直樹 (御船町恐竜博物館) / 池田忠広 (兵庫県立人と自然の博物館) / 伊左治鎮司 (千葉県立中央博物館) / 茨木洋介 (糸魚川市博物館) / 大五雅之 (岩手県立博物館) / 大島光春 (神奈川県立生命の星・地球博物館) / 太日泰弘 (北九州市立自然史・歴史博物館) / 奥村よは子 (佐野市葛生化石館) / 小原正顕 (和歌山県立自然博物館) / 加瀬友春 (国立科学博物館) / 柄沢宏明 (瑞浪市化石博物館) / 三枝春生 (兵庫県立人と自然の博物館) / 作本達也 (石川県立 日然史資料館) / 櫻井和彦 (むかわ町立穂別博物館) / 佐野晋 (福井県立恐竜博物館) / 重田康成 (国立科学博物館) / 篠原 暁 (沼田町化石館) / 柴田健一郎 (横須賀市自然・人文博物館) / 高桑祐司 (群馬県立自然史博物館) / 富庙啓・(滋賀県立琵琶湖博物館) / 田口公則 (神奈川県立生命の星・地球博物館) / 竹谷陽二郎 (福島県立博物館) / 田中 豊 (富山市科学博物館) / 田辺智隆 (戸隠地質化石博物館) / 塚展 実 (大阪市立自然史博物館) / 辻野泰之 (徳島県立博物館) / 富田奉代・国立科学博物館) / 中尾賢一 (徳島県立博物館) / 半田久美子 (兵庫県立人と自然の博物館) / 藤川将之 (秋吉台科学博物館) / 松岡敬二 (豊橋市自然史博物館) / 宮田和周 (福井県立恐竜博物館)

#### 新任職員の紹介



副館長 すずき まさのり 鈴木雅紀

4月、サクラ が咲き始め た時に異動

となりました。屋上展望所からの足羽川の桜並木のライトアップに感動し、天魔ヶ池のモリアオガエルの産卵(雄が6匹も)と卵塊に出会い、神秘的なセミの羽化にも立会い…さすが自然史博物館、環境はすばらしい。今年は、「世界の珍虫・奇虫展」「部分日食」などイベントが目白押しで、あっという間に日々が過ぎています。今後は、500段余の階段を登って当館に足を運んでいただく方に、安心して見学でき、満足して頂けるよう館の運営に努めていきます。



学芸員 (昆虫担当) ラめむらしん ゃ 梅村信哉

念願が叶って、4月から

博物館で働かせていただいております。学生のときはハムシという小さな甲虫を追いかけていました。専門は昆虫ですが、まだまだ知らないことばかりです。豊かな自然に恵まれた福井、そして足羽山で昆虫調査に励み、みなさまと一緒に少しずつ勉強していけたらと思っておりますのでよろしくお願いします。



学芸員 (非常動・動物担当) た なかよしひろ 田中嘉寛

内藤由香子 学芸員の後

任として就任いたしました。生き物の形と進化に興味があり研究しています。日々の「博物館のうらがわツアー」や11月からの骨のミニ展示で、骨の形のおもしろさを市民のみなさまにお伝えしたいと思っています。市民のみなさまにより満足していただける博物館になるよう、微力ながらがんばります。

#### 残念!

#### 黒い太陽と真珠色のコロナが見えない! ~トカラ列島皆既日食観測記~

館長 吉澤康暢

天文ファンにとって一生に一度は見 ておきたいもの。それは天上でくりひ ろげられる神秘の瞬間、皆既日食の黒 い太陽と真珠色のコロナです。何年も 前からトカラ列島(屋久島と奄美大島と の間の島々)での皆既日食の瞬間を夢 見て、楽しみにしてきました。この日 のためにツアーへの参加申し込みを始 め、望遠鏡機材や写真撮影の準備・リ ハーサルなどを入念に行ってきました。

2009年7月21日の夕刻、大きな期待 と夢を携えて鹿児島港発の特別チャー ター船"にっぽん丸"に乗り込みました。 翌22日、皆既日食当日の早朝、トカラ 列島諏訪之瀬島沖に到着しました。風 が強く海面には白波が立ち、船は大き く揺れていました。"にっぽん丸"のデ ッキから望む諏訪之瀬島の上空や山の 稜線は厚い雨雲に覆われていました[写 真1]。船長や海上保安庁の判断で、残 念ながら諏訪之瀬島には上陸せず、雲



[写真1] 船からみたトカラ列島諏訪之瀬島

#### 《あとがき》

連日の報道のため、7月22日博物館には記録的な 数のお客さまが来館され、不手際で随分とご迷惑 をかけてしまいました。大変申し訳ありませんで した。私は、受付対応をしている間に日食が終わ ってしまったので、次の機会にはぜひ、と思って います。特別展ではみなさんに、「身近な場所か らも化石が見つかっていて、そこから面白いこと がわかる!]とちょっとでも感じていただけたら 嬉しいのですが…。「古生物担当学芸員に聞きま した」では、「学芸員になろうと思ったきかっけ」 で一番多かったのが「博物館の影響」でした。私も 良い影響を与えるお手伝いができるようがんばら ねば、と改めて思いました。(安曽)

の晴れ間を探して移動し、皆既 日食を船上で観測することにな りました[写真2]。

太陽は、雲の切れ間から時々 ぱっと現れては隠れます。望遠鏡の極 軸を即座に修正し、カメラのファイン ダーを覗きながら欠けた太陽像を撮影 していきました[写真3]。このような状 態を何度か繰り返しているうちに、つ いに皆既日食が始まる時刻が近づいて きました。カウントダウンです。突然、 あたりがスーッと暗くなり始めたかと 思うと、一瞬にしてあたりは暗闇に包 まれました。隣にいる人の顔や足もと も分からず、ランプの明かりが必要な 暗さとなりました。水平線付近のみが うっすらと明るく、その状態が360度 取り巻いていました。天頂付近は、垂 れ込めた雨雲の濃淡も分からないほど 真っ暗です。待つこと約6分、今度は まるでカーテンを開けたときのように



[写真2] にっぽん丸の船上での観望の様子

#### 《交诵案内》 【電車】

福井鉄道福武線 公園口駅 徒歩20分

【バス】

コミュニティバスすまいる:西ルート(足羽・照手方面) 愛宕坂バス停 徒歩 10分

京福バス運動公園線 (70号系統) 久保町バス停 徒歩 15分 【徒 歩】

JR 福井駅から徒歩30分

#### 《ご利用案内》

開館時間●午前9時~午後5時15分(入館は午後4時45分まで) 休 館 日 月曜日(祝休日は開館)、国民の祝休日の翌日、 年末年始

入館料 高校生以上100円(20名以上の団体は半額) 中学生以下、70歳以上、

障害者および付添の方は無料



スーッと水平線付近から明るくなり始 め、瞬く間に元の状態の明るさに戻っ たのです。すごい!これが皆既日食と いうものなのか、身体全体が大きな感 動と興奮に包まれました。しばらくは、 身じろぎもせず今の皆既のシーンを確 かめるように思い返していました。し かし、厚い雲に阻まれ楽しみにしてい た黒い太陽や真珠色のコロナは見るこ とができませんでした。この落胆は予 想以上に大きく、大きなショックにみ まわれました。

帰路、夕方ぐらいから天候が回復し 始め、船上から見上げた夏の星座や天 の川はとても美しく、さそり座や射手 座の星々が南の空高くに輝いて見えま した。日中の天候を恨めしく思いました。

この夏は天候不順でもありましたが、 私にとってそれ以上に心がすっきりし ない不完全燃焼の夏となってしまいま した。次回、2010年の皆既日食はイー スター島で見ることができるというこ とです。神秘的な黒い太陽や真珠色の コロナの輝きを今度こそ体験したいも のです。



